

診療所・薬局(大型チェーン除く)の総事業費 42.9 万円の内訳まとめ

○令和2年度予算積算時(令和元年)

ベンダにヒアリングを行った結果(37.4~50.6 万円)を参考に粗い積算

※仕様が固まっていない段階でのヒアリング

・資格確認端末	9.9 万円
・ネットワーク整備費及びシステム改修費	33.0 万円
合計	42.9 万円

○加速化プラン検討時(令和2年9~10月)

再度ベンダの協力を得てヒアリングを実施(仕様確定後)

・資格確認端末	19.4 万円
・ネットワーク整備費	3.3 万円
・システム改修費	
オンライン資格確認に最小限必要な機能	13.8 万円
追加機能(レセコン資格情報の自動更新、薬剤情報等活用)	5.8 万円
合計	42.3 万円

※実費補助とする場合、平均としては自己負担なく追加機能(費用対効果を踏まえた実施判断が可能)まで含めた経費を賄えることを確認。(→加速化プランを実施)

【参考_加速化プラン検討時、ベンダに示したヒアリング前提】

ヒアリングのうえでは、システム改修費を7つに区分し、①~④を「これまで健康保険証の有効期限を目視で確認しつつレセコンに入力していた事務と比較して、事務作業が増加しないようにする最小限の範囲」として、基本機能と区分した。

<オンライン資格確認に最小限必要な機能>

- ①マイナンバーカードによる受付時に、資格確認端末内ハードディスクに資格情報等が作成されたことをレセコンで検知し、資格確認端末に情報を要求・受信するための改修
- ②健康保険証による受付時に、レセコンに保険証情報が入力されたことを契機に、資格照会を行うための要求ファイルを作成し、資格確認端末内ハードディスクに格納するための改修
- ③受信した資格情報等を既存のレセコンにおける資格登録機能のインターフェースに変換し、読み込むための改修
- ④照会番号を資格確認端末に連携する XML ファイルを出力するための改修

<追加機能(費用対効果を踏まえた実施判断が可能)>

- ⑤読み込んだ資格情報等をレセコンの資格情報と突合比較するための改修、および登録更新を自動で行うための改修
- ⑥事前確認による一括照会を行うための改修
- ⑦薬剤情報や特定健診情報を電カル等で閲覧、活用できるようにするための改修